



9月定例会 196億286万円余の補正予算案などを可決 生活基盤、防災減災対策に注力

9月定例会県議会は、9月21日に開会し、10月7日までの17日間の会期で開催されました。産業振興や障がい者・子どもの支援、生活基盤の整備、防災・減災対策のための取組を盛り込んだ196億286万9千円の一般会計補正予算案等の知事提出14議案及び13件の専決処分報告を審議、いずれも原案どおり可決・承認しました。

このほか、我が会派提出の「精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書案」など議員提出7議案を可決しました。4日間開催された一般質問では、議員31名へ「信州・新風・みらい」(9名)が演壇に立ち、現地機関の見直しや大北森林組合補助金問題、子ども・若者対策、再生可能エネルギー対策などを質しました。

- 補正予算のポイント**
- 活力ある産業づくり
● 観光アクセス道路整備 (県単公共72箇所)
● 農地の大区画化や畑地のかんがい施設の整備等 (補助公共) 15億1593万円
● 間伐等による森林整備を推進 (補助公共) 16億2282万円
● 障がい者・困難を抱える子どもの支援

平成29年度予算編成等 270項目に阿部知事に要望

例会閉会后、「平成29年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小島代表が阿部知事に手渡ししました。冒頭、小島代表は「会派に寄せられた県民皆様のご意見やご要望を踏まえたもので、しっかり検討いただきたい」と力強く要望しました。



政策集団を自負する我が会派「信州・新風・みらい」は、10月7日の9月定

例会閉会后、「平成29年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小島代表が阿部知事に手渡ししました。冒頭、小島代表は「会派に寄せられた県民皆様のご意見やご要望を踏まえたもので、しっかり検討いただきたい」と力強く要望しました。

この提案書は、常に県民目線の政策実現を目指す立場から、きめ細やかなニーズに対応し内容を更に充実させた結果、昨年より15項目多い270項目に及びました。地方交付税制度の堅持を国に働きかけること、大北森林組合の補助金不適正事案に係る責

任の所在の明確化や県民負担を生じさせないこと、次期総合計画策定では検討期間を確保し県民各層の意見要望をしっかりと把握すること、現地機関の見直しは地方分権の実が挙がるよう取り組むこと、来年度で2期目が終わる「森林づくり県民税」は林業県を目指す観点から十分検討していくことなどが主な要望内容です。

知事は「国と地方の役割分担を明確にし「勝ち組・負け組」が出ないよう行政を進めていく思いは、会派の皆様と同感である」と答えました。

我が会派では、各議員の質や力量を高めると同時に今後の一般質問や委員会質疑を通じ、270項目の着実な実現に向けて精力的に取り組んでまいります。

「選挙区等調査特別委員会」は、去る9月15日、10月4日・6日と相次いで委員会を開催。10月4日の第3回委員会で正副委員長は、総定数を現行の58のままとした場合、議員一人当たりの人口が少くない選挙区を隣接区へ合区すると「1票の格差」が2倍以内になるとする試算、いわゆる「たたき台」を示し、各会派が持ち帰り議論しました。

2日後の第4回委員会では、各会派が持ち帰って検討した結果を報告し合いましたが、「会派として意見はまとまってお

- 障がい者のための施設やグループホームの整備費用の一部を助成 3億7818万円
- 生活基盤の維持向上
● 生活に密着した道路・橋梁の整備 (補助公共) 17億7595万円
- 道路舗装、橋梁や堤防の修繕、改修等 (県単公共120箇所) 12億1700万円
- 防災・減災対策の推進
● 河川改修や浸水想定区域図の策定等 (補助公共) 29億6149万円
- ため池等の耐震化や地すべり対策 (補助公共) 16億6988万円
- 雨水被害等への対応 (県単公共43箇所) 7億990万円

大北森林組合の補助金不適正受給事案の徹底解明を

飯綱町議会から、百条委員会の設置を求める陳情が出される中、行われた一般質問では、6名の議員が大北森林組合の補助金問題をとり上げ、「全容解明が不十分だ、更なる調査を求め」などと強く質しました。これらに対し阿部知事は「すでに十分に調査した」との答弁に終始しました。

また、県は、国が県に課した加算金3億5千万円余を含む11億1千万円余を、9月12日に国に納付しましたが、組合からの返還は未だに未確定のままです。組合は、来年の1月までに返還計画を示すとする中、所管の農政林務委員会に組合の現組合長、専務理事が参考人として出席、「早期返還の責務は自覚している」との発言がありました。が、裁判を理由に事案の内容については一切口を閉ざしたままです。

今後、裁判の行方を見極めながら、継続審査となつた百条委員会設置の是非、補助金返還に係る課題解決に向け引き続き徹底した全容解明を求めていきます。



会派代表として日々奔走

相次ぐ台風等により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

会派の代表に就任して半年余り過ぎました。なかなか地に足がついた活動ができていませんが、引き続き「県民の生活が第一」に政務活動に全力を尽くしてまいります。

小島康晴の 県政レポート

VOL 38

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 信州新風みらい

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP:http://shinshinmirai.com
E-mail:info@shinshinmirai.com

次期総合計画策定の見通し示される 現地機関見直し実施案は引き続き議論を

県政報告第38号をお届けします。今9月定例会でも6月定例会に引き続き大北森林組合等の補助金不正受給に係る課題、さらには知事から示された「現地機関見直し実施案」などについて活発に議論されました。

総務企画警察委員会の議論から

一般質問を受けて、総務企画警察委員会でも活発な議論がなされました。

総務企画委員会

【質問】今回の現地機関見直しの大枠の方向性は？

【答え】「地域の課題を地域で解決できる現地機関にする」という方向性で検討した。

【質問】県として地域振興に本腰を入れるものご期待ですが、地域振興局長に具体的にどのような権限があり、どのくらい予算や人がつくのか、踏み込んだ形で示してもらいたい。

【答え】予算や権限を充実に実させていく方向であるが、11月に向けて更に詳しく説明するようにしたい。

【質問】地域振興局の名称を「南信州」とする案であるが、県の組織としての「南信」は3郡を示してきた。

【飯田】とか「飯伊」、

【伊那】「飯田下伊那」のほうがいいのではないか。

【答え】一定の地域を振興する組織として、どのような名称が良いか検討した。様々なご意見をお聞きする中で成案としていきたい。

【質問】来年度「しあわせ信州創造プラン」が最終年度を迎えるが、次期総合5か年計画策定の見通しは？

【要望】平成27年度からの「信州創生戦略」に続いて、次期総合5か年計画を策定することになるが、計画を具現化する仕組みも合わせて検討するよう要望する。

【質問】大北森林組合問題で、公判での証言と検証委員会報告書との整合性を整理しているというが、責任者はどの部か？

【答え】総務部と林務部で共に対応している。

【質問】現時点で食い違っていることはあるか？

【答え】全体的に整理して幅広く検討している状況である。

【質問】警察関係の交通事故の報告が多いように思われるが、どのような対策をしているか？

【答え】平成23年以降では、年間22件から28件で推移している。今年2月に「交通事故、交通違反防止のための新たな総合対策」を策定し、事故防止に努めている。

【質問】県民に身近なパトカーはどのような基準で配置されているか？

【答え】警察車両は基本は国費で整備されているが、県警全体で1,091台の四輪車を所有し、そのうちパトカーは370台で、おおむね5〜7年で更新されている。

【質問】市街地等での防犯カメラの設置はどのような考えか？

【答え】自治体や商店街等に、防犯カメラによる犯罪抑止効果を情報提供するなど、設置に向け積極的に働きかけていきたい。

【要望】南信運輸免許センターについて、地域では一日も早くという思いがあるので、引き続きのご尽力をお願いする。

8月8〜10日、会派で東北方面の視察を行いました。

岩手県庁では、医師の任期付き採用制度や森林資源循環利用推進ビジョンについて調査しました。

宮城県農業・園芸総合研究所では、農作業の省力軽労化生産技術開発や果樹の省力多収技術について調査しました。

9月7日、知事と正副議長・各会派代表者との懇談会が行われました。

知事からは、山の日記念大会、米国コロラド州訪問、現地機関の見直し、総合計画4年目、国の補正予算等について発言がありました。

私からは次の点を申し上げました。

8月に会派で岩手県庁を視察した際、建設部の方から震災復興に向けた長野県からの職員派遣について、丁寧なお礼の言葉をいただいた。改めて派遣されたいという職員の皆さんに敬意を表する。この皆さんの経験等を活かして全体化、共有化するしくみを考えてはどうか？

現地機関の見直し案を確かなものにするためには、権限、財源、人材を「地域振興局」に持って行くことが大切である。振興局長を「理事」とする、振興局長が自由に

きる予算も3000万円くらいは確保する、人材も本庁から現地にできるだけ移す等、具体的に進めていただきたい。

リニア中央新幹線はこの1〜2年が特に大切である。伊那谷自治体会議に、知事はテレビ会議参加であったが、できる限り顔を合わせて進めてほしい。JR東海に対しても、窓口責任者として、不十分な点はしっかりと指摘するなど、対応していただきたい。

7月21〜22日
総務企画警察委員会・北信中信調査・飯山警察署、飯山市若者会議「との意見交換、長野県短期大学、高速道路交通警察隊、松本空港管理事務所、道の駅・今井恵みの里

8月11日
山の日記念全国大会

8月18〜19日
決算特別委員会現地調査・佐久合同庁舎、上田合同庁舎、上田警察署(現場調査)

8月22〜23日
総務企画警察委員会・東信南信調査・陳情書受理、概況説明(上小地方事務所他)、「上田城跡への誘い」道しるべの丘整備事業、真田を生かしたまちづくり事業、長和町役場、茅野警察署、白樺湖景観美化推進委員会、概況説明(諏訪地方事務所他)

8月24日
危機管理建設委員会・中南信調査同行・関係市町村等陳情書受理、概況説明(飯田建設事務所他)、松川ダム

9月8〜9日
決算特別委員会現地調査・伊那合同庁舎、松本合同庁舎、水産試験場(現場調査)

開会中の主な公務日誌

阿部知事との懇談会から

県外の先進事例に学ぶ

雄国太陽光発電所

道の駅・ふくしま東和

福島県二本松市の「ゆきりの里東和ふるさとづくり協議会」では、桑の葉など地域資源を活かした地域活性化の取り組みをお話を伺いました。

送風機のついた作業着を試着

会津若松市の会津電力(株)雄国太陽光発電所では、会社の設立経緯や地域の自立を目指す方向性について伺いました。

雄国太陽光発電所

道の駅・ふくしま東和

道の駅・ふくしま東和